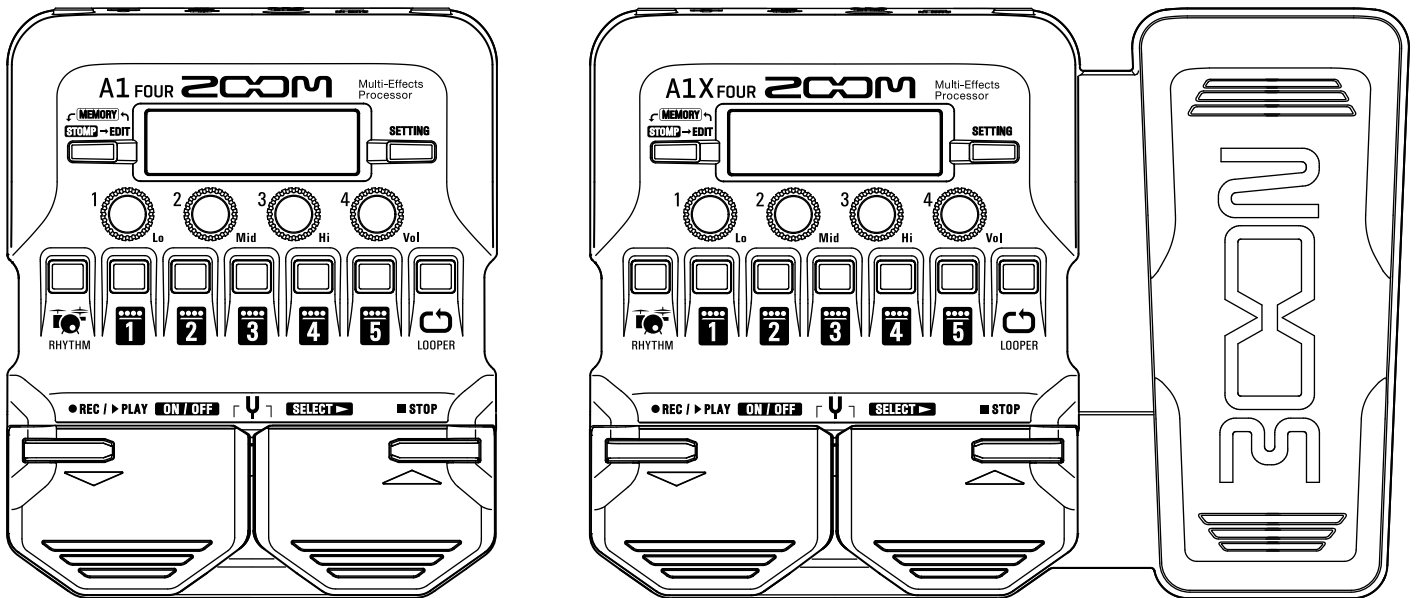


A1 FOUR / A1X FOUR

Multi-Effects Processor



オペレーションマニュアル

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください

© 2019 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。
文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

はじめに

このたびは、ZOOM マルチエフェクトプロセッサー **A1 FOUR/A1X FOUR** をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

マルチエフェクトプロセッサーには、音を響かせたり（リバーブ）、揺らしたり（コーラス）、歪ませたり（ディストーション）するなど、様々な効果（エフェクト）が搭載されており、複数のエフェクトを組み合わせる使用することができます。エフェクトの組み合わせやパラメーターの設定は、パッチメモリーとして本体に保存し、いつでも呼び出して使うことができます。まずはあらかじめプリセットされているパッチメモリーを切り替えてサウンド変化をお楽しみください。

エフェクトを使いこなし、自分だけの音を作るためには、それぞれのエフェクトの特徴を知ることが大切です。プリセットパッチメモリーのエフェクトを1つずつOFFにしていくと、各エフェクトの役割を手早く把握することができます。もし音色の変化が分かりにくい時は、一旦すべてのエフェクトをOFFにしてから1つだけをONにして、パラメーターを変化させながら音を出してみてください。またエフェクトを並べる順番もサウンドに影響を与えます。エフェクトの順番を変えてみると欲しかった音に近づくかもしれません。

簡単に色々な音を楽しめるのがマルチエフェクトプロセッサーです。末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

A1 FOUR/A1X FOUR の主な特長

簡単操作で直感的な音作り

まるでコンパクトエフェクト／ストンプボックスのような操作感で、直感的に素早い音作りが可能です。

マイクアダプター MAA-1

MAA-1 経由で XLR コネクタを持つマイクを接続して、アコースティック楽器にもエフェクトをかけることができます。またファンタム電源 (+48V) の供給に対応しているため、クリップマイクなどのコンデンサマイクを使用することもできます。

アコースティック楽器に最適化したエフェクトサウンド

最新 G シリーズの基本エフェクトの他に、AC シリーズで定評のあるアコースティックギター用エフェクト、その他の様々なアコースティック楽器に最適化したエフェクトを搭載。アンチフィードバックエフェクトを使用すれば、フィードバック（ハウリング）を気にせずエフェクトをかけた演奏が可能です。

また無料のエフェクト管理ソフトウェア Guitar Lab を使用すると、オンラインで配信されるエフェクトの追加や、パッチメモリーの編集／バックアップなどをパソコン（Mac/Windows）で行うことができます。

汎用性の高いリズムパターン

様々なジャンルに対応できるシンプルなりズムパターンを内蔵しています。

最大 30 秒のルーパーを搭載

最大 30 秒のルーパーを使ってサウンド・オン・サウンドのパフォーマンスが可能です。また生音の大きなアコースティック楽器でも、ルーパーの位置をエフェクトの前に切り替えて一度演奏した音をループさせれば、楽器を演奏しなくても音作りができるので便利です。

演奏環境に合わせて瞬時に EQ（イコライザー）が操作可能

MEMORY / STOMP モードでは、アウトプット EQ（Lo/Mid/Hi）とアウトプットボリューム（Vol）を4つのノブで操作することができます。演奏する環境が変わっても瞬時に対応可能です。

長時間の電池駆動

アルカリ単三電池 4 本を使用することで約 18 時間の連続動作が可能です。※ LCD バックライト OFF 時

用語について

パッチメモリー

エフェクトの ON/OFF やパラメーターの設定値を記録したものを“パッチメモリー”と呼びます。エフェクトの呼び出しや保存はパッチメモリー単位で行います。1つのパッチメモリーには5つのエフェクトが登録でき、**A1 FOUR/A1X FOUR**は50パッチメモリーまで保存できます。

バンク

パッチメモリーを10個単位でひとまとめにしたものを“バンク”と呼び、バンクを切り替えることでパッチメモリーを素早く呼び出せます。**A1 FOUR/A1X FOUR**には5つのバンクがあります。

エフェクトタイプ

音を響かせたり（リバーブ）、揺らしたり（コーラス）、歪ませたり（ディストーション）と、様々なエフェクトがエフェクトタイプとして登録されています。パッチメモリーに登録するエフェクトは、エフェクトタイプの中から選択できます。

MEMORY モード

フットスイッチを使用してパッチメモリーを選択するモードです。

STOMP モード

フットスイッチを使用してパッチメモリーに登録されたエフェクトの ON/OFF を切り替えるモードです。

EDIT モード

パッチメモリーで使用するエフェクトのタイプやパラメーターをエディットするモードです。

プリセレクト

選択しているパッチメモリーの音色を保持したまま、離れた番号のパッチメモリーに切り替えることができる機能です。

バンクホールド

切り替えられるパッチメモリーを同じバンク内に限定する機能です。

オートセーブ

パッチメモリーやエフェクトの設定変更を自動的に保存する機能です。

ECO モード

操作をやめてから10時間経過したときに電源を自動的にオフする機能です。

アンチフィードバック

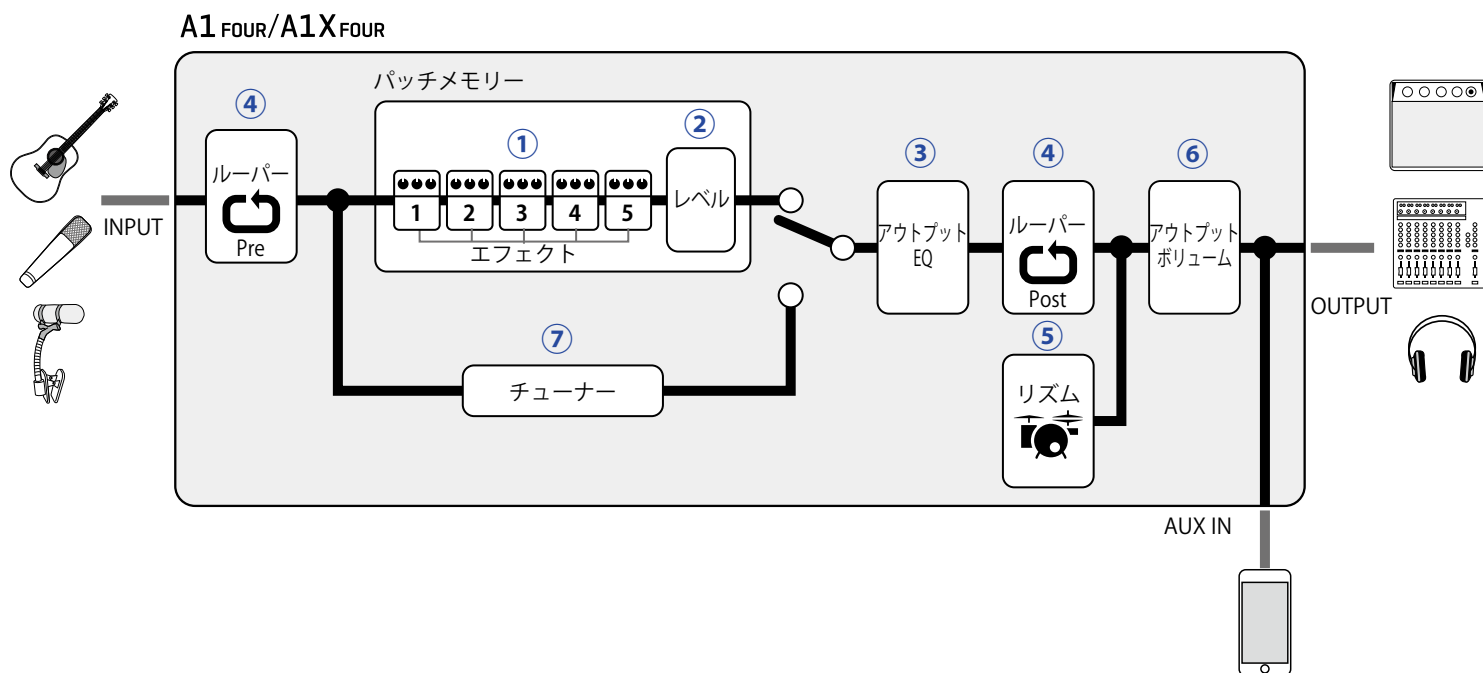
フィードバックしている周波数帯域を検出・カットし、フィードバックを抑える機能です。

目次

はじめに	2	電源とディスプレイを設定する	37
用語について	3	電池の種類を選択する	37
目次	4	ECO モードを設定する	38
A1 FOUR/A1X FOUR の構成	5	バックライトの点灯時間を設定する	39
各部の名称	7	ディスプレイのコントラストを調節する	40
電池を入れる	9	チューナーを使用する	41
接続する	10	チューナーに切り替える	41
MAA-1 を使用してマイクを接続する	11	楽器をチューニングする	41
全体の音質と出力レベルを調節する	13	チューナーの設定を変更する	43
パッチメモリーを使用する (MEMORY モード)	14	フィードバックを抑える	45
MEMORY モードに切り替える	14	リズムを使用する	46
パッチメモリー／バンクを選択する	15	リズムに切り替える	46
パッチメモリーごとの設定を変更する	16	リズムを設定する	47
フットスイッチでエフェクトを ON/OFF する (STOMP モード)	18	リズムを再生／停止する	48
STOMP モードに切り替える	18	リズムパターン	49
フットスイッチでエフェクトの ON/OFF を切り替える	19	ルーパーを使用する	50
エフェクトを調節する (EDIT モード)	20	ルーパーに切り替える	50
EDIT モードに切り替える	20	ルーパーを設定する	51
エフェクトを選択する	21	フレーズを録音／再生する	53
エフェクトの ON/OFF	21	フレーズのオーバーダビング	54
エフェクトの種類を変更する	22	フレーズを消去する	55
エフェクトのパラメーターを調節する	23	エクスペッションペダルを使用する (A1X FOUR のみ)	56
エフェクトを並べ替える	24	ペダルエフェクトを設定する	56
パッチメモリーを管理する	25	ペダルを調節する	57
パッチメモリーを保存する	25	ファームウェアを管理する	59
パッチメモリーを入れ替える	27	ファームウェアバージョンを確認する	59
マスターテンポを調節する	29	ファームウェアをアップデートする	60
オートセーブを設定する	30	工場出荷時の設定に戻す	61
プリセレクトを設定する	33	故障かな？と思う前に	62
バンクホールドを設定する	36	仕様	63

A1 FOUR/A1X FOUR の構成

■信号の流れ



①入力された楽器の音は、エフェクト 1～5 を順に経由します。
(→ [14 ページ「パッチメモリーを使用する \(MEMORY モード\)」](#))

②パッチメモリーのレベルを調節します。
(→ [14 ページ「パッチメモリーを使用する \(MEMORY モード\)」](#))

③全体の音質を調節します。パッチメモリーを切り替えても設定は保持されます。
(→ [13 ページ「全体の音質と出力レベルを調節する」](#))

④録音したフレーズをループ再生することができます。ルーパの配置は Pre と Post から選択することができます。
(→ [50 ページ「ルーパを使用する」](#))

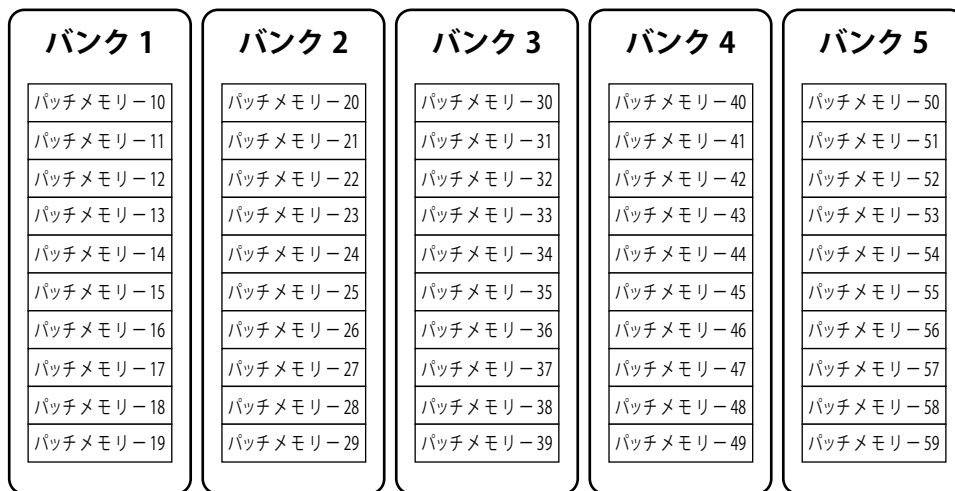
⑤内蔵のリズムパターンでドラム音源を再生することができます。
(→ [46 ページ「リズムを使用する」](#))

⑥全体のレベルを調節します。
(→ [13 ページ「全体の音質と出力レベルを調節する」](#))

⑦接続した楽器のチューニングを行うための機能です。
(→ [41 ページ「チューナーを使用する」](#))

■メモリーの概念 (パッチメモリー／バンク)

A1 FOUR/A1X FOURは、50個のパッチメモリーを記録することができます。
パッチメモリーは10個単位でバンクとして管理されます。



■操作モード

A1 FOUR/A1X FOURには3つのモードがあり、目的に応じて使い分けながら演奏します。

● MEMORY モード

演奏に使用するパッチメモリーを選択します。

(→ [14 ページ「パッチメモリーを使用する \(MEMORY モード\)」](#))

● STOMP モード

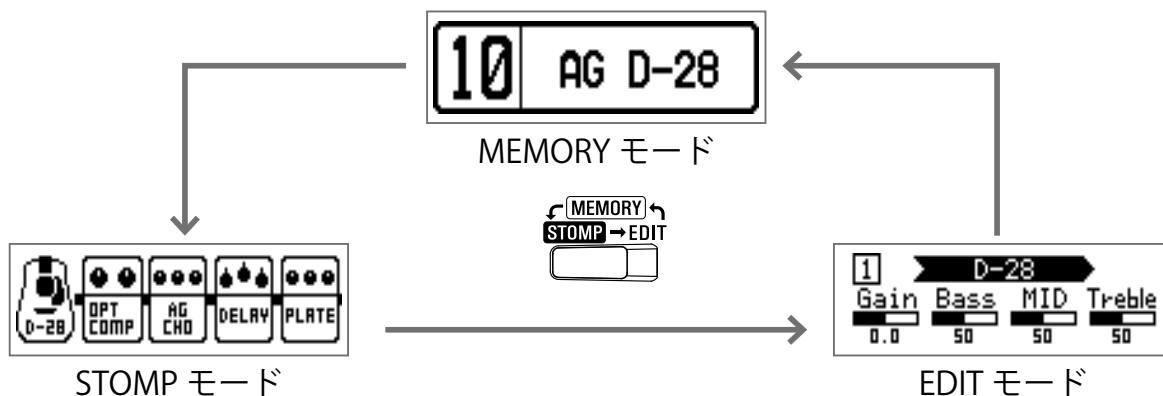
フットスイッチを使用して、パッチメモリーに登録されたエフェクトのON/OFFを切り替えます。

(→ [18 ページ「フットスイッチでエフェクトをON/OFFする \(STOMP モード\)」](#))

● EDIT モード

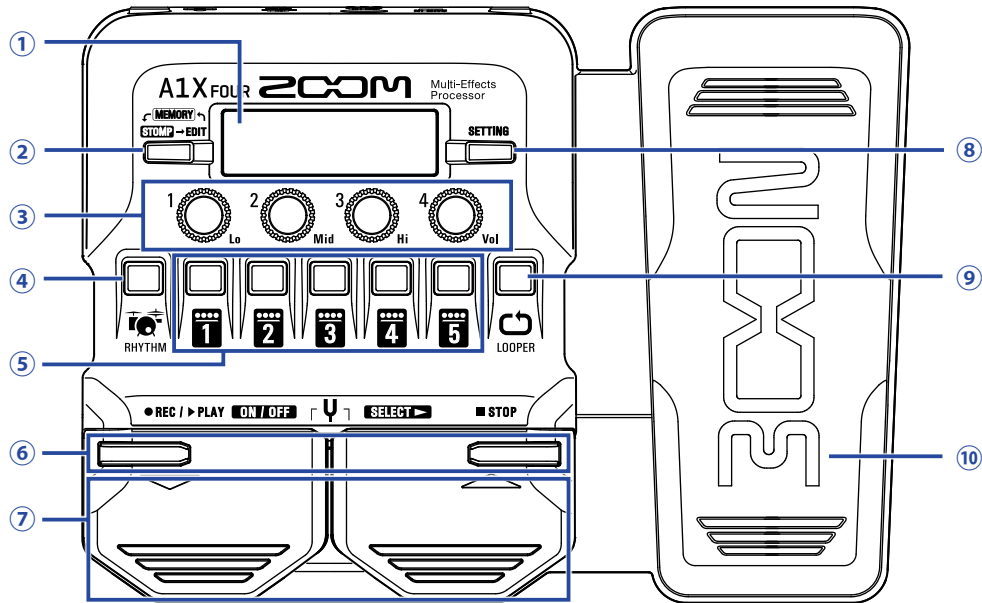
パッチメモリーで使用するエフェクトの変更やパラメーターの調節を行います。

(→ [20 ページ「エフェクトを調節する \(EDIT モード\)」](#))



各部の名称

■フロントパネル



①ディスプレイ

選択中のパッチメモリーやエフェクトの名称、パラメーターの設定値などを表示します。

②モード切り替えキー

押すたびに MEMORY モード、STOMP モード、EDIT モードに切り替えます。

③パラメーターノブ

エフェクトのパラメーター調節、各種設定を行います。

④リズムキー

リズムに切り替えます。

⑤エフェクト／バンクキー

MEMORY モードではバンクを切り替えます。
STOMP モードではエフェクトの ON/OFF を行います。
EDIT モードではエフェクトの選択・ON/OFF を行います。

⑥▼／▲キー

EDIT モードでエフェクトを切り替えるときに使用します。▼／▲フットスイッチと同一の機能です。

⑦▼／▲フットスイッチ

MEMORY モードではパッチメモリーの切り替え、STOMP モードではエフェクトの選択と ON/OFF などを行います。

⑧セッティングキー

設定画面を表示します。

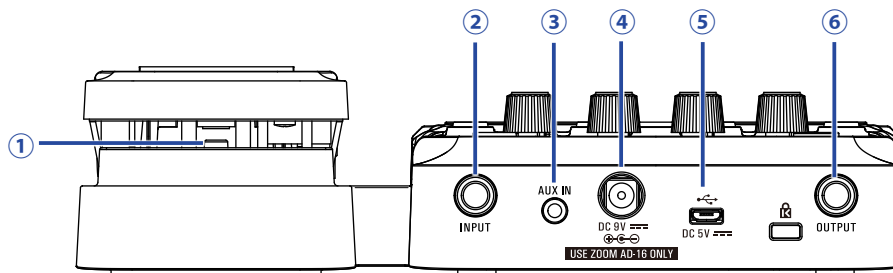
⑨ルーパーキー

ルーパーに切り替えます。

⑩エクスプレッションペダル (A1X FOURのみ)

PEDAL カテゴリのエフェクトを選択した場合、そのエフェクトの効果を調節します。(→ [56 ページ「ペダルエフェクトを設定する」](#))

■リアパネル



①ペダルスイッチ (A1X_{FOUR}のみ)

PEDAL カテゴリのエフェクトを使用中に、そのエフェクトの ON/OFF を行います。

②入力端子

ギターを接続します。

③ AUX IN 端子

オーディオ機器などの外部音源を接続します。

HINT

AUX IN 端子に入力された信号は、内蔵エフェクトを経由せず、直接出力端子に送られます。

④ AC アダプター端子

専用の AC アダプター (ZOOM AD-16) を接続します。

⑤ USB 端子

パソコンなど外部機器を接続します。Guitar Lab を使用すると、パソコン上でパッチメモリー管理やエフェクトの編集・追加などができます。

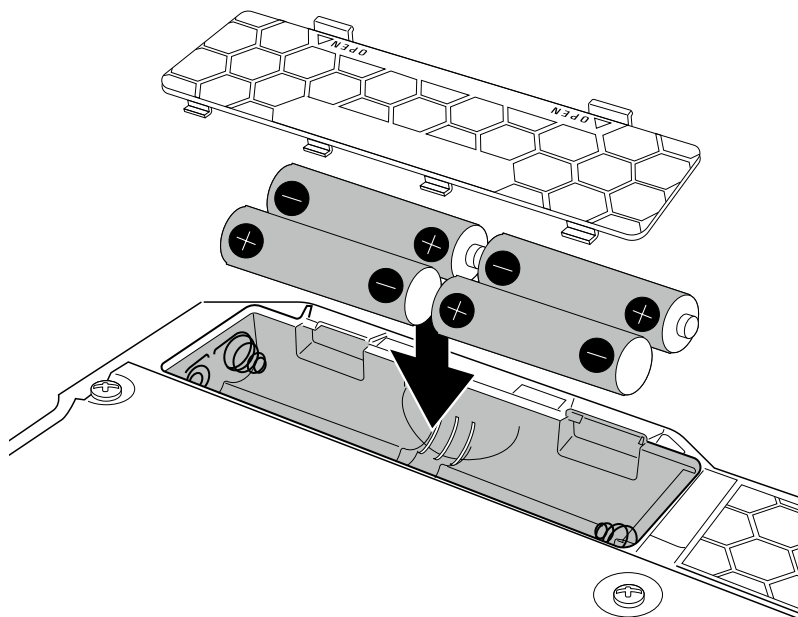
モバイルバッテリーなどを接続して電力供給もできます。

⑥出力端子

ギターアンプやヘッドフォンを接続します。

電池を入れる

1. 製品底面の電池ボックスの蓋を開け、単三電池を 4 本入れる



2. 電池ボックスの蓋を閉じる

NOTE

電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく設定してください。(→ [37 ページ「電池の種類を選択する」](#))

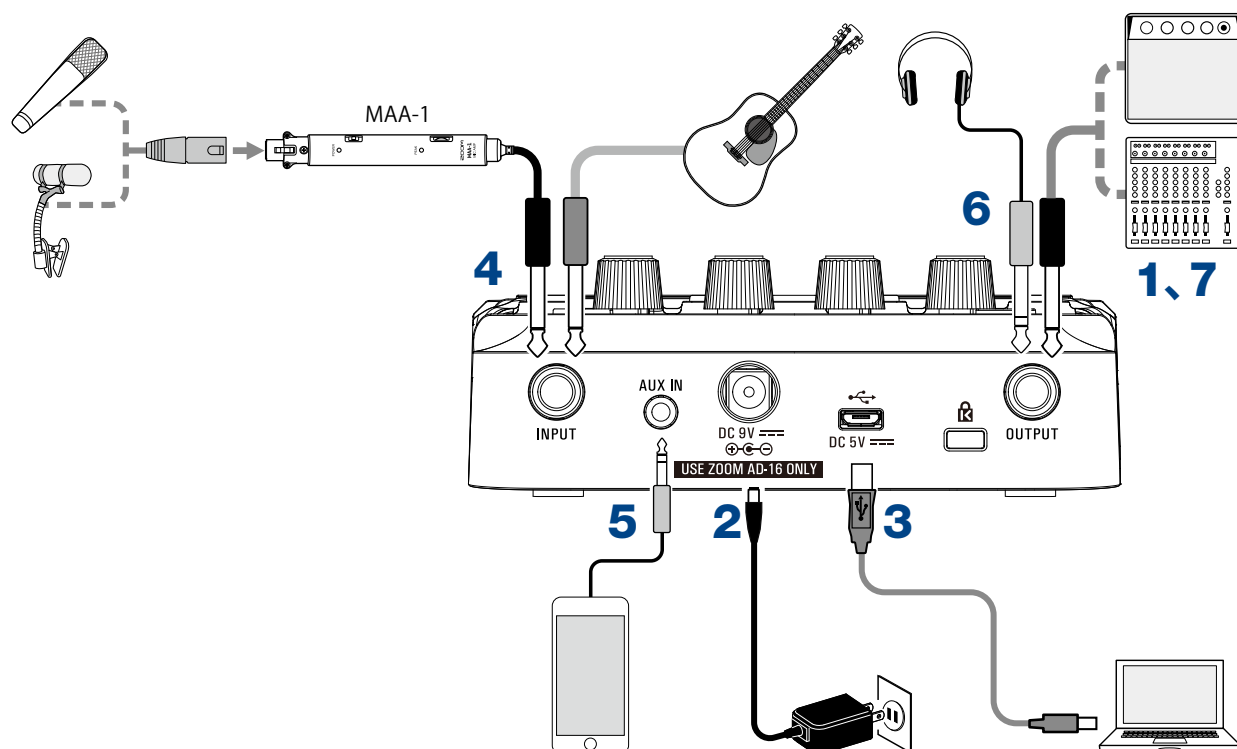
HINT

- 専用の AC アダプター (ZOOM AD-16) を接続すると、AC 電源で使用できます。
- USB 端子からの電源供給でも動作します。

ECO モードについて

- 初期設定では ECO モードが "ON" に設定されており、操作が行われなまま 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。
- ECO モードは、設定画面で "OFF" にすることもできます。(→ [38 ページ「ECO モードを設定する」](#))

接続する



1. 再生機器の音量を最小にする
2. AC 電源を使用する場合は、専用 AC アダプター (ZOOM AD-16) を AC アダプター端子とコンセントに接続する
A1 FOUR/A1X FOURの電源が ON になります。
3. パソコンと接続する場合は、USB ケーブル (市販) を USB 端子とパソコンに接続する
A1 FOUR/A1X FOUR を USB バスパワーで使用する場合は、この時点で電源が ON になります。

Guitar Lab について

Guitar Lab を使用すると、パソコン上でパッチメモリー管理やエフェクトの編集・追加などができます。Guitar Lab は、ZOOM の WEB サイトからダウンロードできます。(www.zoom.co.jp/)

4. INPUT 端子に楽器を接続する
A1 FOUR/A1X FOUR を電池で使用している場合は、この時点で電源が ON になります。
マイクを接続する場合は、MAA-1 を使用します。(→ 11 ページ「MAA-1 を使用してマイクを接続する」)

5. 外部入力を使用する場合は、AUX IN 端子に携帯音楽プレイヤーなどを接続する

HINT

AUX IN 端子に入力された信号は、内蔵エフェクトを経由せず、直接出力端子に送られます。

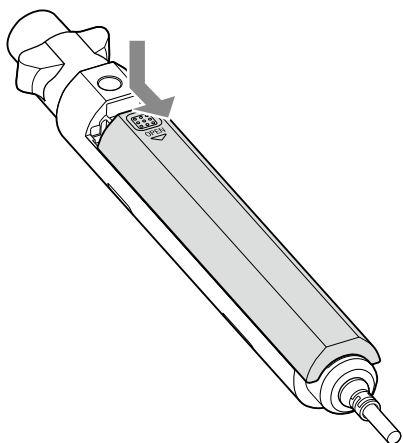
6. OUTPUT 端子に PA システムやヘッドフォンを接続する
7. 再生機器の音量を上げる

MAA-1 を使用してマイクを接続する

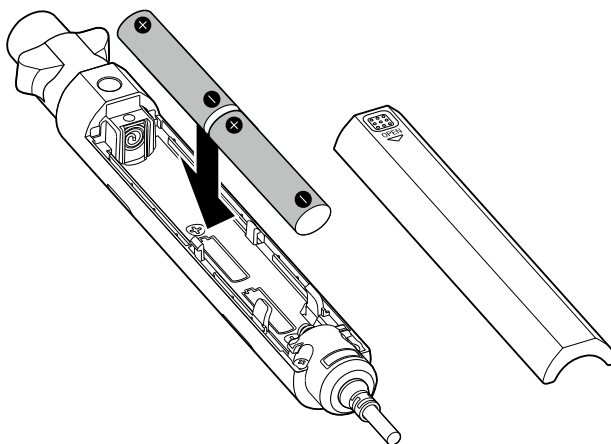
MAA-1 を使用してマイクを **A1 FOUR/A1X FOUR** に接続すると、ピックアップを搭載しないバイオリンなどの弦楽器、トランペットやサックスなどの管楽器、ハーモニカなどを **A1 FOUR/A1X FOUR** で楽しむことができます。

MAA-1 に電池を入れる

1. 電池ボックスの蓋を下へ押しながら開ける

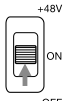


2. 単三電池を 2 本入れる



3. 電池ボックスの蓋を閉じる


MAA-1 の電源を入れる

1.  を ON の位置にする


POWER
● が赤色に点灯します。

コンデンサーマイクなどファンタム電源が必要な機器を接続した場合は、+48V の位置にします。

NOTE

ファンタム電源に対応していない機器に接続する場合は、 を +48V の位置にしないでください。機器が破損することがあります。

MAA-1 の入力レベルを調節する

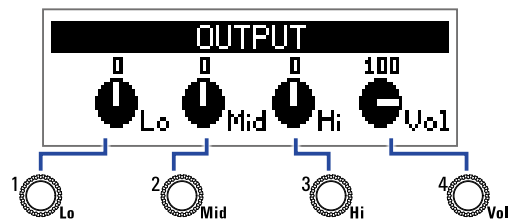
1.  を回す

PEAK
● が緑色に点灯するように調節します。

入力レベルが大きすぎるときは **PEAK**
● が赤色に点灯します。

全体の音質と出力レベルを調節する

1. MEMORY、STOMP モードを使用中に、 1 Lo ~ 4 Vol を回す



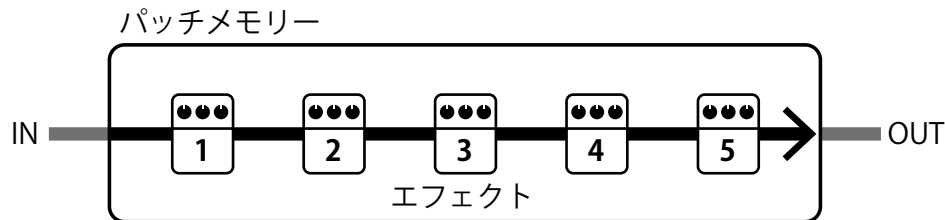
機能	操作
低音域のレベルを調節	1 Lo を回す
中音域のレベルを調節	2 Mid を回す
高音域のレベルを調節	3 Hi を回す
全体のレベルを調節	4 Vol を回す

HINT

ここで調節した内容は、パッチメモリーを切り替えても保持されます。

パッチメモリーを使用する (MEMORY モード)

A1 FOUR/A1X FOURは、エフェクトを“パッチメモリー”で管理します。1つのパッチメモリーには最大で5つのエフェクトを登録して、それぞれのON/OFFやパラメーターの設定を保存できます。




パッチメモリーは最大で50個まで作成できます。また、パッチメモリーは10個ごとに“バンク”にまとめられ、バンクを切り替えることでエフェクトを素早く呼び出せます。MEMORYモードでは、使用するパッチメモリーを選択します。

MEMORYモードに切り替える

HINT

A1 FOUR/A1X FOURを起動すると、MEMORYモードが表示されます。



1. STOMP、EDITモードを使用中に、を押す

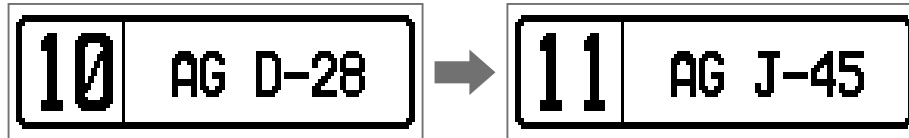
を押すたびに、MEMORY → STOMP → EDITの順でモードが切り替わります。



パッチメモリー／バンクを選択する



パッチメモリーを切り替える

1.  または  を押す
パッチメモリーが切り替わります。





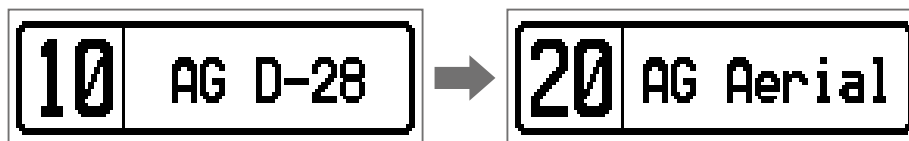
機能	操作
前のパッチメモリーに切り替え	 を押す
次のパッチメモリーに切り替え	 を押す

HINT

-  または  を押し続けると、パッチメモリーを連続して変更できます。
- プリセレクト機能を使用すると、選択しているパッチメモリーの音色を保持したまま、離れた番号のパッチメモリーに切り替えることができます。(→ [33 ページ「プリセレクトを設定する」](#))
- バンクホールド機能を使用すると、切り替えられるパッチメモリーを同じバンク内に限定します。(→ [36 ページ「バンクホールドを設定する」](#))

バンクを切り替える

1.  ~  を押す
バンクが切り替わります。選択されているバンクの LED が点灯します。



機能	操作
パッチメモリー番号 10 ~ 19 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 20 ~ 29 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 30 ~ 39 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 40 ~ 49 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 50 ~ 59 に切り替え	 を押す

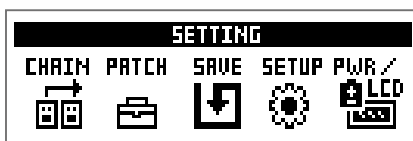
パッチメモリーごとの設定を変更する

1. 設定を変更したいパッチメモリーを選択する



2. **SETTING** を押す

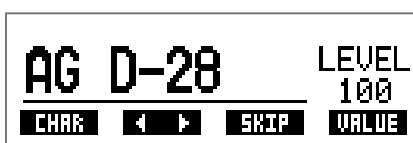
SETTING 画面が表示されます。



3. **2** を押す

パッチメモリーの設定画面が表示されます。

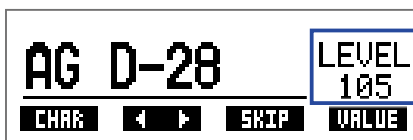
パッチメモリーのレベルとパッチメモリー名を変更できます。(→ [16 ページ「パッチメモリーのレベルを変更する」](#)) (→ [17 ページ「パッチメモリー名を変更する」](#))



パッチメモリーのレベルを変更する

1. **Vol** を回す

パッチメモリーレベルが変更されます。



HINT

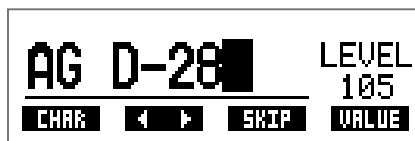
SETTING

- **SETTING** を押すと、パッチメモリーの設定を終了して元の画面に戻ります。
- パッチメモリーごとの設定変更とは別に、**A1 FOUR/A1X FOUR**全体の音量と音質を調節できます。(→ [13 ページ「全体の音質と出力レベルを調節する」](#))

パッチメモリー名を変更する

1. ²O_{Mid}を回す

カーソル位置が移動します。




2. ¹O_{Lo}を回す

カーソル位置の文字が変更されます。




HINT SETTING


- を押すと、パッチメモリーの設定を終了して元の画面に戻ります。
 - 使用可能な文字／記号は次の通りです。
A-Z, a-z, 0-9, ! # \$ % & ' () +, -, ; = @ [^ _ ` { } ~ (space)
 - ³O_{Hi}を回すと、文字種を変更することができます。
-

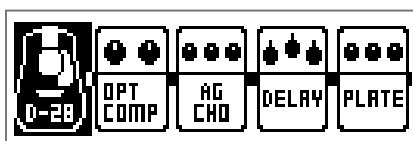
フットスイッチでエフェクトを ON/OFF する (STOMP モード)

STOMP モードでは、エフェクトの ON/OFF をフットスイッチで切り替えることができます。

STOMP モードに切り替える

1. MEMORY、EDIT モードを使用中に、 を押す

 を押すたびに、MEMORY → STOMP → EDIT の順でモードが切り替わります。

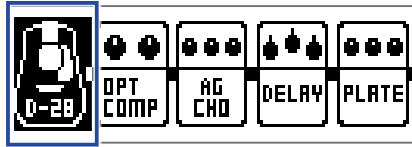


フットスイッチでエフェクトの ON/OFF を切り替える

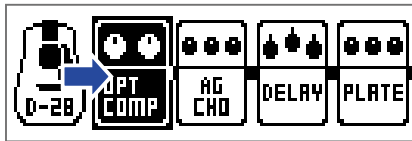
1. を押す

操作するエフェクトを選択します。

選択されたエフェクトが反転表示になります。

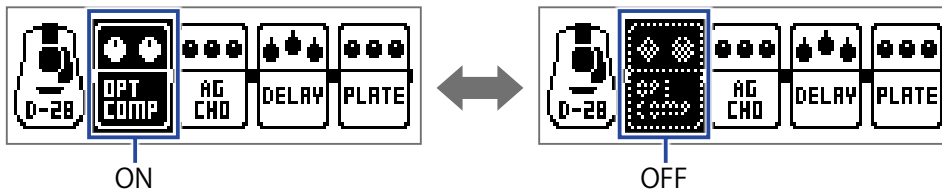


を押すたびに、選択対象が右に移動します。

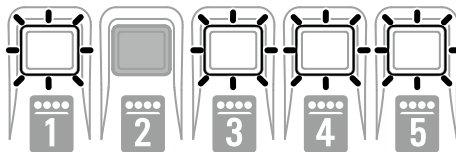
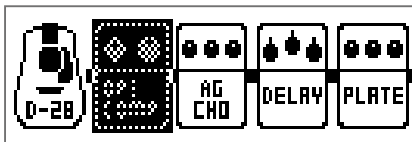


2. を押す

エフェクトの ON/OFF を切り替えます。

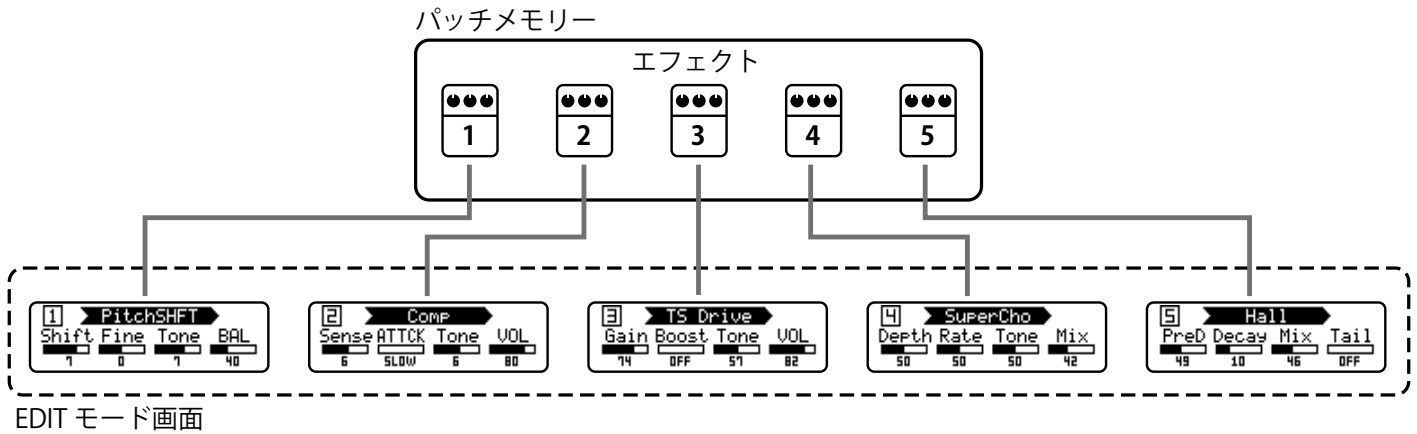


手でエフェクトの ON/OFF を切り替える場合は、操作するエフェクトの位置に対応した **1** ~ **5** を押します。



エフェクトを調節する (EDIT モード)

EDIT モードでは、パッチメモリーで使用されているエフェクトの変更やパラメーターの調節を行います。



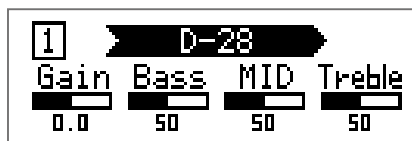
EDIT モードに切り替える

1. MEMORY モードで、パッチメモリーを選択する



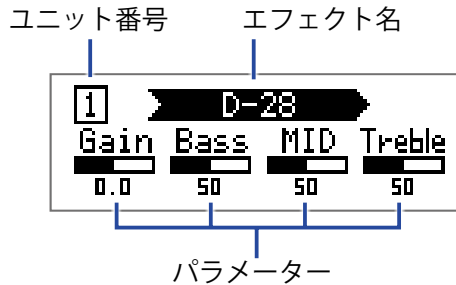
2.  を押す

 を押すたびに、MEMORY → STOMP → EDIT の順でモードが切り替わります。



エフェクトを選択する

1. 編集するエフェクトに対応した **1** ~ **5** を押す
エフェクトが切り替わります。
選択されているエフェクトのLEDが点灯します。

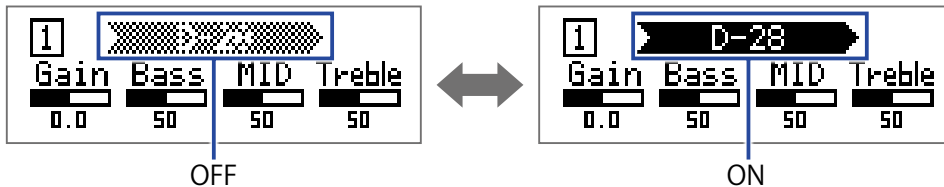


HINT

ユニット番号は、パッチメモリー内でのエフェクトの並び順を表しています。



エフェクトの ON/OFF

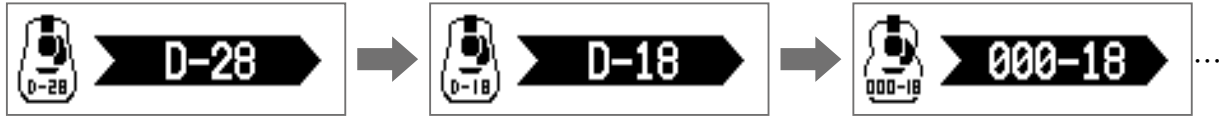
1. 選択中のエフェクトに対応した **1** ~ **5** をもう一度押す
1 ~ **5** を押すたびに、ON/OFF が切り替わります。



エフェクトの種類を変更する



エフェクトタイプを選択する


1.  または  を押す



機能	操作
前のエフェクトタイプに切り替え	 を押す
次のエフェクトタイプに切り替え	 を押す

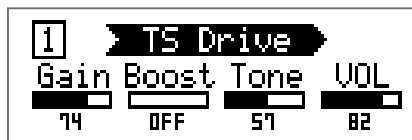
エフェクトのカテゴリを選択する

1.  を押したまま  を押す
カテゴリ名がディスプレイに表示されます。



 を押すたびに、次のカテゴリ名が表示されます。



カテゴリ名が表示された状態でしばらく待つと、カテゴリの先頭にあるエフェクトタイプに変更されます。



HINT

-  を押したまま  を押すと、カテゴリを逆方向に切り替えることができます。
- 各エフェクトの説明は Guitar Lab で確認できます。

NOTE

以下の場合には、“PROCESS OVERFLOW” と表示され、エフェクトがバイパス状態になります。いずれかのエフェクトタイプを変更するか削除すると、バイパス状態を解除できます。

- 処理能力の限界を超えた場合
- パラメーターが5個以上のエフェクトを3個以上使おうとした場合

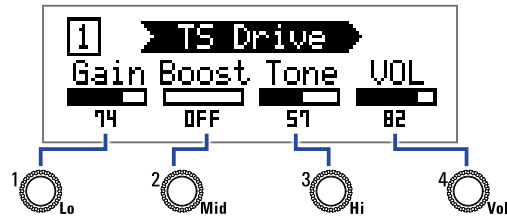


HINT

A1X_{FOUR}では、カテゴリ「PEDAL」のエフェクトを選択すると、エクスプレッションペダルを使用したエフェクト操作ができます。

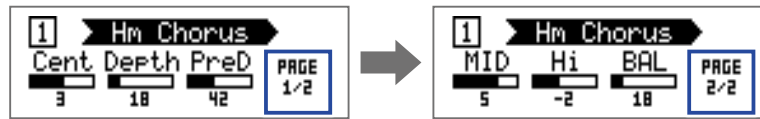
エフェクトのパラメーターを調節する

1. 1^oLo ~ 4^oVolを回す



それぞれのノブに対応するパラメーターは、エフェクトタイプごとに異なります。ディスプレイに表示される項目名を参考にしてください。

パラメーターの数が5つ以上のエフェクトでは、4^oVolで画面を切り替えます。



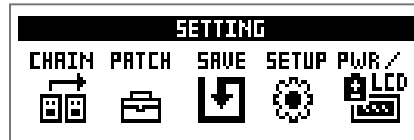
HINT

- オートセーブを“ON”に設定している場合は、調節したパラメーターは自動的に保存されます。(→ [30ページ「オートセーブを設定する」](#))
- オートセーブを“OFF”に設定している場合は、パッチメモリーを切り替えようとする時、パラメーターを保存する画面が表示されます。
- 工場出荷時には、オートセーブ機能が有効になっています。

エフェクトを並べ替える

1. **SETTING** を押す

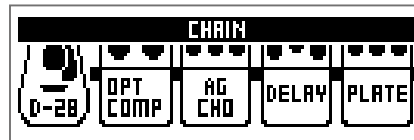
SETTING 画面が表示されます。



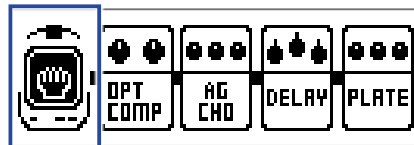
2. **1** を押す

CHAIN 画面が表示されます。

選択中のパッチメモリーで使用されているエフェクトがアイコンで表示されます。

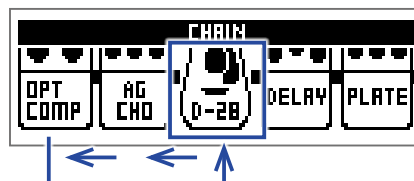


3. 移動させるエフェクトに対応した **1** ~ **5** を押す



4. 移動先の位置に対応した **1** ~ **5** を押す

選択した位置にエフェクトが移動します。



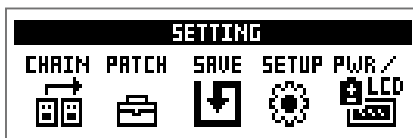
パッチメモリーを管理する

パッチメモリーを保存する

パッチメモリーの変更内容を上書き保存します。また、別の番号のパッチメモリーに保存することもできます。

1. を押す

SETTING 画面が表示されます。



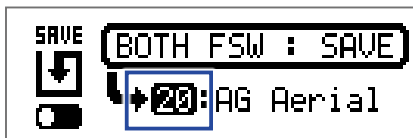
2. を押す




SAVE 画面が表示されます。





3. , , ~ を押す

保存先のパッチメモリー番号を選択します。



機能	操作
前のパッチメモリーを選択	 を押す
次のパッチメモリーを選択	 を押す
パッチメモリー番号 10 ~ 19 を選択	 を押す
パッチメモリー番号 20 ~ 29 を選択	 を押す
パッチメモリー番号 30 ~ 39 を選択	 を押す
パッチメモリー番号 40 ~ 49 を選択	 を押す
パッチメモリー番号 50 ~ 59 を選択	 を押す

4. 、を同時に押す

パッチメモリーが上書き保存されます。

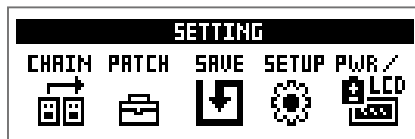


パッチメモリーを入れ替える

パッチメモリーの内容を別の番号のパッチメモリーと入れ替えます。

1.  を押す

SETTING 画面が表示されます。



2.  を押す

SAVE 画面が表示されます。



3.  を回す





ディスプレイ上のアイコンが SAVE から SWAP に切り替わります。



4. 、、 ~  を押す

入れ替え先のパッチメモリー番号を選択します。



機能	操作
前のパッチメモリーを選択	 を押す
次のパッチメモリーを選択	 を押す
パッチメモリー番号 10 ~ 19 を選択	 を押す
パッチメモリー番号 20 ~ 29 を選択	 を押す
パッチメモリー番号 30 ~ 39 を選択	 を押す
パッチメモリー番号 40 ~ 49 を選択	 を押す
パッチメモリー番号 50 ~ 59 を選択	 を押す

5. 、を同時に押す
パッチメモリーが入れ替わります。



NOTE

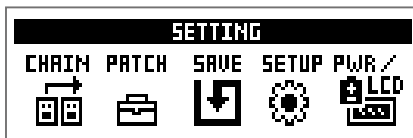
変更したパッチメモリーを入れ替えるには、先に変更内容を保存する必要があります。
パッチメモリーを保存してから入れ替えてください。(→ [25 ページ「パッチメモリーを保存する」](#))

マスターテンポを調節する

マスターテンポはエフェクト、リズム、ルーパーに共通して使用されるテンポです。

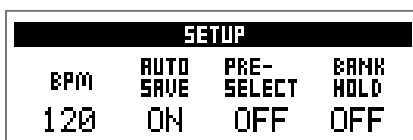
1. を押す

SETTING 画面が表示されます。

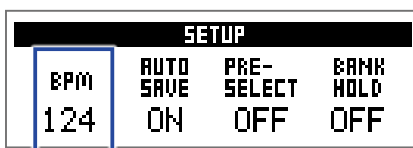


2. を押す

SETUP 画面が表示されます。



3. を回す



HINT

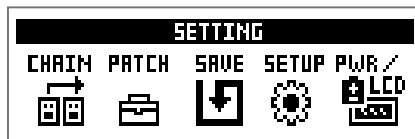
- 40 ~ 250 の範囲で調節します。
- BPM (Beats Per Minute) は音楽のテンポの速さを表す単位で、1 分間あたりの拍数 (四分音符の数) を表します。例えば 60 BPM の場合、1 分間に 60 拍のテンポになります。

オートセーブを設定する

パッチメモリーやエフェクトの設定を変更した際、自動的に保存されるように設定します。

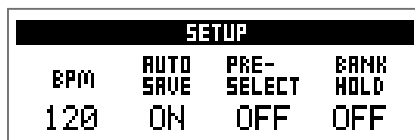
1. **SETTING** を押す

SETTING 画面が表示されます。

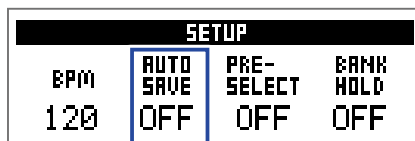


2. **4** を押す

SETUP 画面が表示されます。



3. **Mid** を回す



設定	説明
ON	オートセーブを使用します。
OFF	オートセーブを使用しません。

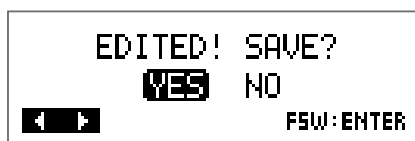
■オートセーブが“ON”の場合

パッチメモリーやエフェクトの設定変更は自動的に保存されます。

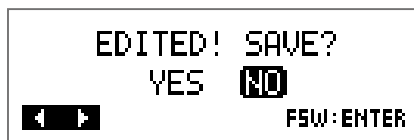
■オートセーブが“OFF”の場合

以下の操作を行うことでパッチメモリーの変更が保存されます。

1. パッチメモリーを編集した後、他のパッチメモリーに切り替える操作を行う
変更結果を保存するかどうか確認するメッセージがディスプレイに表示されます。



2. を回す



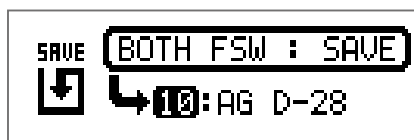
設定	説明
YES	変更内容を保存します。
NO	変更内容を保存しません。

NOTE

“NO” を選択した場合は、変更したパッチメモリーの設定内容は保存されず、他のパッチメモリーに移ります。

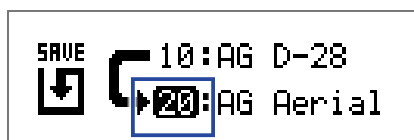
3. または を押す

保存先のパッチメモリー番号を選択する画面が表示されます。



4. , , ~ を押す

保存先のパッチメモリー番号を選択します。



機能	操作
前のパッチメモリーに切り替え	 を押す
次のパッチメモリーに切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 10 ~ 19 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 20 ~ 29 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 30 ~ 39 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 40 ~ 49 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 50 ~ 59 に切り替え	 を押す

5. 、を同時に押す
変更結果が保存されます。



HINT

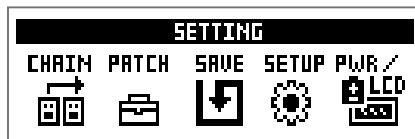
SETTING 画面でパッチメモリーの変更内容を保存することもできます。(→ [25 ページ「パッチメモリーを保存する」](#))

プリセレクトを設定する

選択しているパッチメモリの音色を保持したまま、離れた番号のパッチメモリーに切り替えます。

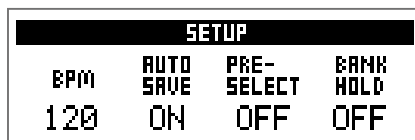
1.  を押す

SETTING 画面が表示されます。

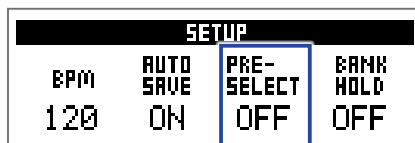


2.  を押す

SETUP 画面が表示されます。



3.  を回す

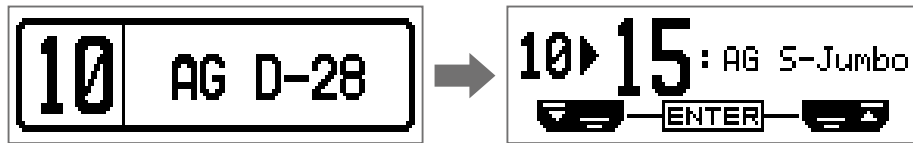


設定	説明
ON	プリセレクトを使用します。
OFF	プリセレクトを使用しません。

■プリセレクトが“ON”の場合

1. MEMORY モードで 、、～を押す

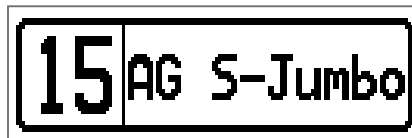
切り替え先のパッチメモリー番号を確認する画面が表示されます。



機能	操作
前のパッチメモリーに切り替え	 を押す
次のパッチメモリーに切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 10～19 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 20～29 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 30～39 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 40～49 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 50～59 に切り替え	 を押す

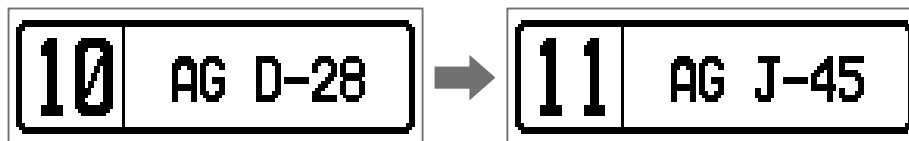
2. 、 を同時に押す

選択したパッチメモリーに切り替わります。



■プリセレクトが“OFF”の場合

1. MEMORY モードで 、、～を押す
パッチメモリーが切り替わります。



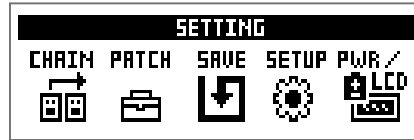
機能	操作
前のパッチメモリーに切り替え	 を押す
次のパッチメモリーに切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 10～19 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 20～29 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 30～39 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 40～49 に切り替え	 を押す
パッチメモリー番号 50～59 に切り替え	 を押す

バンクホールドを設定する

切り替えられるパッチメモリーを、同じバンク内に限定します。

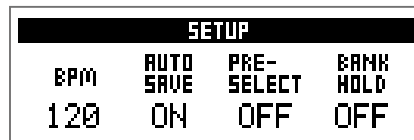
1. **SETTING** を押す

SETTING 画面が表示されます。

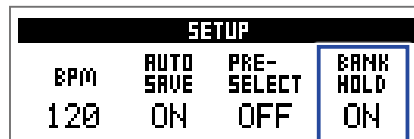


2. **4** を押す

SETUP 画面が表示されます。



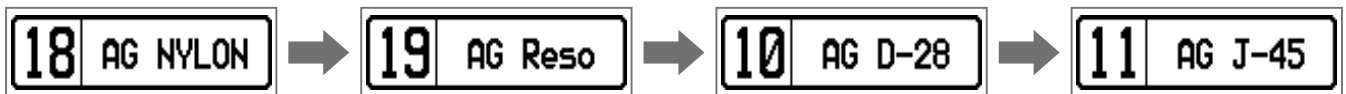
3. **Vol** を回す



■バンクホールドが“ON”の場合

バンク内の最小・最大パッチメモリーを超えて切り替えると、同じバンクの最大・最小パッチメモリーに切り替わります。

例：現在のパッチメモリーがバンク 1 の場合



■バンクホールドが“OFF”の場合

バンク内の最小・最大パッチメモリーを超えて切り替えると、次のバンクのパッチメモリーに切り替わります。

例：現在のパッチメモリーがバンク 1 の場合



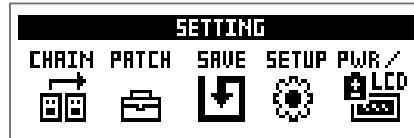
電源とディスプレイを設定する

電池の種類を選択する

電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく選択してください。

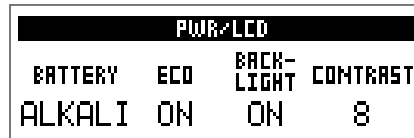
1. **SETTING** を押す

SETTING 画面が表示されます。

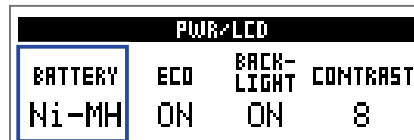


2. **5** を押す

PWR/LCD 画面が表示されます。



3. **0** を回す



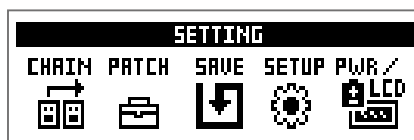
設定	説明
ALKALI	アルカリ電池
Ni-MH	ニッケル水素電池

ECO モードを設定する

操作をやめてから 10 時間経過すると自動的に電源が切れるように設定します。

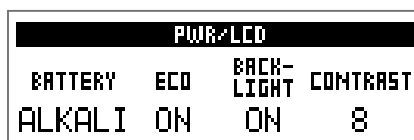
1.  を押す

SETTING 画面が表示されます。

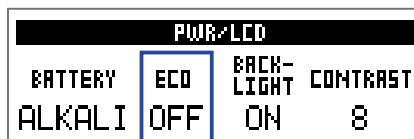


2.  を押す

PWR/LCD 画面が表示されます。



3.  を回す



設定	説明
ON	操作をやめてから 10 時間経過すると自動的に電源が切れます。
OFF	ECO モードを無効にします。

バックライトの点灯時間を設定する

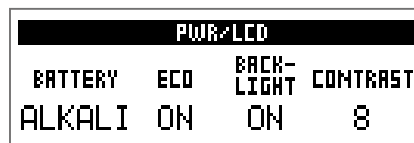
1. **SETTING** を押す

SETTING 画面が表示されます。

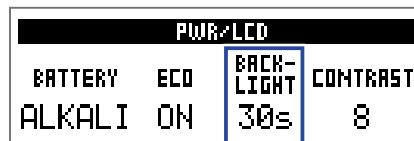


2. **5** を押す

PWR/LCD 画面が表示されます。



3. **3** を回す

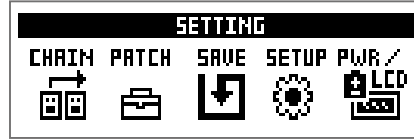


設定	説明
OFF	バックライトを消灯します。
ON	バックライトを常時点灯します。
15s	操作後 15 秒で消灯します。
30s	操作後 30 秒で消灯します。

ディスプレイのコントラストを調節する

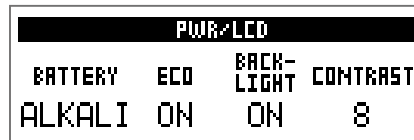
1. **SETTING** [SETTING] を押す

SETTING 画面が表示されます。

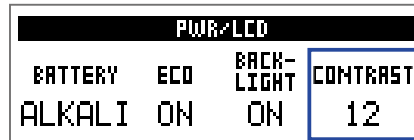


2. **[5]** を押す

PWR/LCD 画面が表示されます。



3. **[Vol]** を回す





HINT

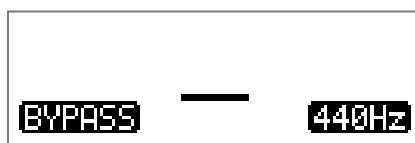
1 ~ 13 の範囲で調節します。

チューナーを使用する


接続した楽器のチューニングを行います。

チューナーに切り替える

1. MEMORY、STOMP、EDIT モードを使用中に、、 を同時に押す
チューナーに切り替わります。



HINT SETTING

以外のいずれかのキーを押すと、チューナーを終了して元の画面に戻ります。

楽器をチューニングする

1. チューニングしたい音を出し、ピッチを調整する
選択しているチューナータイプによって、表示が異なります。(→ [43 ページ「チューナーの設定を変更する」](#))

■ CHROMATIC チューナー

最寄りの音名（半音単位）を基準にしてチューニングします。

最寄りの音名とピッチのズレが、ディスプレイと LED に表示されます。

ピッチが合うと、メーター中央の LED が緑色に、左右の LED が赤色に点灯します。

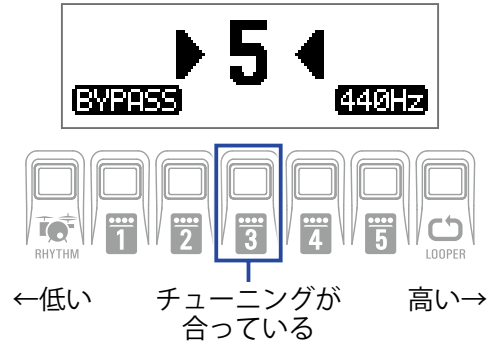


■その他のチューナー（ギター用）

選択したタイプに応じて最寄りの弦番号を表示し、本来合わせるべきピッチを基準にしてチューニングします。

最寄りの弦番号とピッチのズレが、ディスプレイとLEDに表示されます。

ピッチが合うと、メーター中央のLEDが緑色に、左右のLEDが赤色に点灯します。



チューナーの設定を変更する

1. チューナー画面で **SETTING** を押す
チューナー設定画面が表示されます。

TUNER			
OUTPUT	CALIB	TYPE	FLAT
BYPASS	440	CHROMATIC	---

■出力方法を設定する

1. **1**  を回す

TUNER			
OUTPUT	CALIB	TYPE	FLAT
MUTE	440	CHROMATIC	---

設定	説明
BYPASS	エフェクトをバイパスした楽器の音を出力します。
MUTE	楽器の音を出力しません。

HINT


チューナー画面で **1**  を回して設定することもできます。

■基準ピッチを調節する

1. **2**  を回す

TUNER			
OUTPUT	CALIB	TYPE	FLAT
BYPASS	442	CHROMATIC	---

HINT

- 中央 A=435 ~ 445 Hz の範囲で調節します。
- チューナー画面で **4**  を回して調節することもできます。

■チューナータイプを選択する

1. を回す

TUNER			
OUTPUT	CALIB	TYPE	FLAT
BYPASS	440	GUITAR	b×0

設定	説明
CHROMATIC	最寄りの音名（半音単位）を基準にしてズレを表示します。
その他のチューナータイプ	選択したタイプに応じて最寄りの弦番号を表示し、本来合わせるべきピッチからどの程度ずれているかを表示します。選択できる種類は次の表の通りです。

表示	解説	弦番号／音名						
		7	6	5	4	3	2	1
GUITAR	7弦ギターにも対応するギターの標準チューニング	B	E	A	D	G	B	E
OPEN A	開放弦を鳴らすとAのコードになるオープンAチューニング	-	E	A	E	A	C#	E
OPEN D	開放弦を鳴らすとDのコードになるオープンDチューニング	-	D	A	D	F#	A	D
OPEN E	開放弦を鳴らすとEのコードになるオープンEチューニング	-	E	B	E	G#	B	E
OPEN G	開放弦を鳴らすとGのコードになるオープンGチューニング	-	D	G	D	G	B	D
DADGAD	タッピング奏法などでよく使われる変則チューニング	-	D	A	D	G	A	D

■フラットチューニングを使用する（ギター用チューナー）

1. を回す

すべての弦を通常のチューニングよりも半音（b×1）、1音（b×2）、1音半（b×3）下げた状態にチューニングできます。

TUNER			
OUTPUT	CALIB	TYPE	FLAT
BYPASS	440	GUITAR	b×3


NOTE

チューナータイプが“CHROMATIC”のときは、フラットチューニングはできません。

フィードバックを抑える

エフェクトで Anti FB (アンチフィードバック) を選択すると、アンチフィードバック機能を使うことができます。フィードバックしている周波数帯域を検出・カットし、フィードバックを抑えることができます。



1. MEMORY モードで、Anti FB を割り当てたいパッチメモリーを選択する

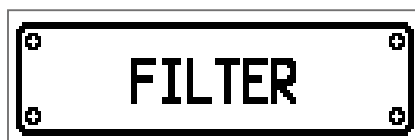
2.  を繰り返し押しして EDIT モードにする





3.  ~  を押す


効果を最大限に発揮するには、Anti FB を先頭に割り当ててください。

4.  を押したまま  を繰り返し押しして、「FILTER」を選択する




5.  または  を繰り返し押しして、「Anti FB」を選択する



6.  を回して設定を選択する

「Auto」を選択すると自動でフィードバックの原因となる周波数帯域を検出・カットします。手動でカットする周波数帯域を選択することもできます。

7.  ~  を押しして「Anti FB」を ON にする

• 手順 6 で「Auto」を選択した場合：

ディスプレイに "Scanning" と表示され、フィードバック周波数帯域の検出が開始されます。周波数帯域の検出が終了すると表示が消え、アンチフィードバック機能がオンになります。

• 手順 6 で周波数帯域を選択した場合：

フィードバック機能が ON になり、選択した周波数帯域をカットします。


HINT

- Anti FB を割り当てたパッチメモリーを保存すると、検出したフィードバック周波数帯域も保存されます。
- STOMP モードにすることで、フットスイッチを使用して Anti FB を ON にすることができます。
- Anti FB を複数個使用することもできます。

リズムを使用する




内蔵されたリズムに合わせて演奏します。

リズムに切り替える

1. MEMORY、STOMP、EDIT モードを使用中に、 RHYTHM を押す
リズム画面が表示されます。

RHYTHM	○○○○
PATTERN Count	BPM VOL
Metro	ON 120 80

HINT

-  RHYTHM を押すと、元のモードに戻ります。
 - リズムの再生中に  RHYTHM を押すと、リズムを再生したまま元のモードに戻ります。
 - リズムを再生しながら、ルーパーを使用できます。リズム画面で  LOOPER を押すと、ルーパー画面に切り替わります。(→ [50 ページ「ルーパーを使用する」](#))
-

リズムを設定する

■リズムパターンを選択する

1. O_L を回す

リズムパターンを選択します。(→ [49 ページ「リズムパターン」](#))

RHYTHM	O_{ooo}
PATTERN	Count BPM VOL
Cajon2	ON 120 80

■プリカウントを設定する

1. O_{Mid} を回す

プリカウントを設定します。

ルーパーで録音を開始する前に、カウント音を再生します。

RHYTHM	O_{ooo}
PATTERN	Count BPM VOL
Cajon2	OFF 120 80

設定	説明
OFF	プリカウントを再生しません。
ON	プリカウントを再生します。

■テンポを調節する

1. O_{Hi} を回す

RHYTHM	O_{ooo}
PATTERN	Count BPM VOL
Cajon2	OFF 124 80

HINT

- 40 ~ 250 の範囲で調節します。
- ここで調節したテンポは、各エフェクトおよびルーパーと共有されます。

■音量を調節する

1. O_{Vol} を回す

RHYTHM	O_{ooo}
PATTERN	Count BPM VOL
Cajon2	OFF 124 84

HINT

0 ~ 100 の範囲で調節します。

リズムを再生／停止する

1.  を押す

リズムが再生します。



RHYTHM	●	ooo
PATTERN	Count	BPM VOL
Cajon2	OFF	124 84

2.  を押す

リズムが停止します。

HINT

リズムの再生中に、MEMORY/STOMP/EDIT モードに切り替えることができます。リズムを停止する場合は

 を押してリズム画面を表示してから、 を押してください。

リズムパターン

No.	PatternName	TimSig
1	Metro	
2	Metro3	3/4
3	Metro4	4/4
4	Metro5	5/4
5	Guide1	4/4
6	Guide2	4/4
7	Cajon1	4/4
8	Cajon2	4/4
9	Cajon3	4/4
10	Cajon4	4/4
11	Country1	2/4
12	Country2	2/4
13	Blues1	4/4
14	Blues2	4/4
15	Shuffle1	4/4
16	Shuffle2	4/4
17	Shuffle3	4/4
18	Shuffle4	4/4
19	Bossa1	4/4
20	Bossa2	4/4
21	Jazz1	4/4
22	Jazz2	4/4
23	Jazz3	4/4


No.	PatternName	TimSig
24	Jazz4	4/4
25	8Beats1	4/4
26	8Beats2	4/4
27	8Beats3	4/4
28	8Beats4	4/4
29	16Beats1	4/4
30	16Beats2	4/4
31	Funk1	4/4
32	Funk2	4/4
33	Fusion	4/4
34	JzFunk1	4/4
35	JzFunk2	4/4
36	Pop80s1	4/4
37	Pop80s2	4/4
38	Motown	4/4
39	Disco	4/4
40	Samba1	4/4
41	Samba2	4/4
42	Samba3	4/4
43	Salsa1	4/4
44	Salsa2	4/4
45	CubaGrv1	4/4
46	CubaGrv2	4/4

No.	PatternName	TimSig
47	Djembe1	4/4
48	Djembe2	4/4
49	Reggae1	4/4
50	Reggae2	4/4
51	NuSoul1	4/4
52	NuSoul2	4/4
53	LoFiHH1	4/4
54	LoFiHH2	4/4
55	NuJazz1	4/4
56	NuJazz2	4/4
57	House1	4/4
58	House2	4/4
59	Techno1	4/4
60	Techno2	4/4
61	DanceHall	4/4
62	Triplet	4/4
63	JzWaltz1	3/4
64	JzWaltz2	3/4
65	CtWaltz1	3/4
66	CtWaltz2	3/4
67	5/4Grv1	5/4
68	5/4Grv2	5/4

ルーパーを使用する

演奏したフレーズを録音して、最大でモノラル 30 秒のループフレーズを作ることができます。


ルーパーに切り替える

1. MEMORY、STOMP、EDIT モードを使用中に、 LOOPER を押す
ルーパー画面が表示されます。



```
LOOPER
Time StopMode POSI VOL
MANUAL Instant Post 80
```

HINT

 LOOPER を押すと、元のモードに戻ります。

ルーパーを設定する

■ループの録音時間を設定する

1. ¹Q_L を回す

LOOPER			
Time	StopMode	POSI	VOL
↓×2	Instant	Post	80

設定	説明
MANUAL	手動で録音を停止するか、最大録音時間に達するまで録音します。
↓ × 1 ~ 64	四分音符 1 拍 ~ 64 拍に設定します。実際に録音される時間は BPM の設定で決まります。 録音時間 (秒) = 60 ÷ BPM × 拍数

NOTE

- ルーパーの録音時間は 1.5 秒から 30 秒です。
- 録音範囲に収まらない場合、自動的に調節されます。
- 録音時間を変更すると、録音データは消去されます。

■ループの停止方法を設定する

1. ²Q_{Mid} を回す

LOOPER			
Time	StopMode	POSI	VOL
↓×2	Finish	Post	80

設定	説明
Instant	停止操作直後に停止します。
Finish	ループを最後まで再生してから停止します。
Fade Out	ループをフェードアウトしてから停止します。

■ルーパーの位置を変更する

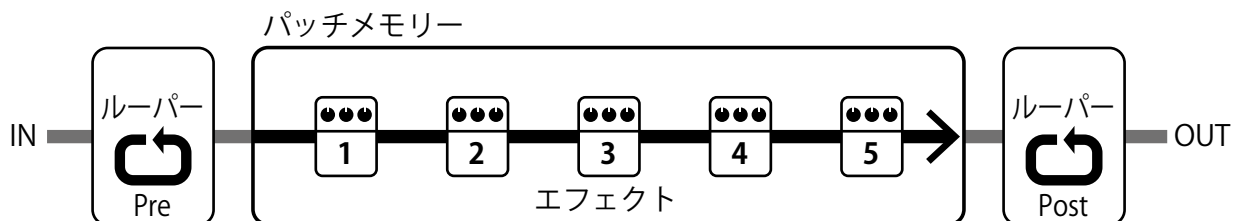
1. O_{Hi} を回す

LOOPER			
Time	StorMode	POSI	VOL
↓x2	Finish	Pre	80

設定	説明
Pre	ルーパーの位置をエフェクトの前に設定します。
Post	ルーパーの位置をエフェクトの後に設定します。

HINT

生音の大きなアコースティック楽器でも、ルーパーの位置をエフェクトの前に切り替えて一度演奏した音をループさせれば、楽器を演奏しなくても音作りをすることができます。



■音量を調節する

1. O_{Vol} を回す

LOOPER			
Time	StorMode	POSI	VOL
↓x2	Finish	Pre	86

HINT

0～100の範囲で調節します。

ルーパーのテンポについて

ルーパーのテンポはエフェクトやリズムと共有されています。

テンポは SETTING 画面 (29 ページ「[マスターテンポを調節する](#)」) またはリズム設定画面 (47 ページ「[リズムを設定する](#)」) で設定することができます。

テンポを変更すると、録音データは消去されます。

フレーズを録音／再生する


1. を押す

フレーズの録音が始まります。



2. 録音を停止してループ再生を開始する

録音時間が "MANUAL" に設定されている場合

 をもう一度押すか、最大録音時間に達すると、録音を停止してループ再生が始まります。

録音時間が "♪ × 1 ~ 64" に設定されている場合

設定した録音時間が経過すると録音を停止してループ再生が始まります。



3. を押す

ループ再生が停止します。



NOTE


- ・リズム再生中は、プリカウント後に録音が始まります。
- ・AUX IN 端子から入力された音は録音されません。

HINT

- ・リズム再生中はクオンタイズが有効になり、録音終了のタイミングが多少ずれても、自動的に補正され正確なタイミングでループ再生されます。
- ・フレーズを再生しながら、MEMORY/STOMP/EDIT モードに切り替えることもできます。

フレーズのオーバーダビング

録音したフレーズに、別の演奏を重ねて録音します。


1. フレーズの再生中に、 を押す
オーバーダビングが開始されます。

フレーズを最後まで再生した後は、フレーズの先頭に戻ってループ再生し、オーバーダビングを繰り返します。



2. オーバーダビング中に、 を押す
オーバーダビングが終了し、フレーズの再生に戻ります。

フレーズを消去する

1. ループ再生の停止中に  を長押しする
録音したフレーズが消去されます。

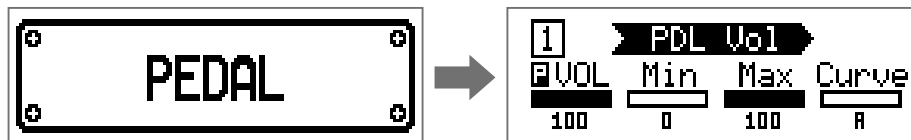


エクスプレッションペダルを使用する (A1X_{FOUR}のみ)

A1X_{FOUR}で PEDAL カテゴリのエフェクトを選択した場合、エクスプレッションペダルでエフェクトのかかり方を変化させることができます。

ペダルエフェクトを設定する

1. EDIT モードで、カテゴリ「PEDAL」からエフェクトを選択する



NOTE

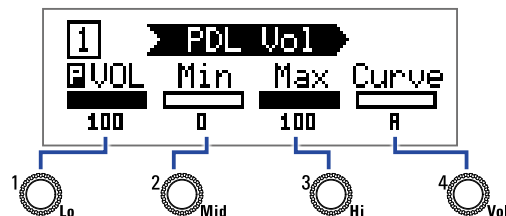
1つのパッチメモリーの中で選択できる PEDAL カテゴリのエフェクトは1つだけです。

HINT

カテゴリからエフェクトを選択するには (→ [22 ページ「エフェクトのカテゴリを選択する」](#))

2. 1O_{Lo} ~ 4O_{Vol} を回す

ペダルエフェクトを調節します。(→ [23 ページ「エフェクトのパラメーターを調節する」](#))



3. エクスプレッションペダルを操作する


エフェクトのかかり方が変化します。

HINT


エクスプレッションペダルの先端を踏み込むことで、ペダルエフェクトの ON/OFF を切り替えることができます。この操作では、ON/OFF の設定は保存されません。

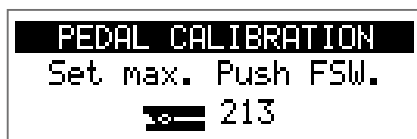
ペダルを調節する

ペダルの感度を調節する

1. **SETTING**  を押しながら **A1XFOUR** の電源を ON にする
ペダルのキャリブレーション画面が表示されます。



2. ディスプレイの表示に従ってペダルを操作し、その都度  または  を押す



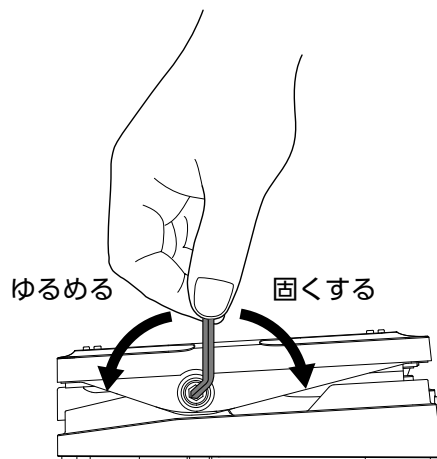
“Complete!” と表示され、ペダルのキャリブレーションが完了します。

NOTE

- 以下の場合には、ペダルの感度を調節します。
 - ペダルを踏んでもあまり効果がない。
 - 軽く踏んだだけなのに音量や音色が大きく変化してしまう。
- “Error!” と表示された場合は、キャリブレーションを最初からやり直してください。

トルクを調節する

1. ペダル側面のトルク調節用ネジに 5mm サイズの六角レンチを挿し込む
2. ペダルを固くしたいときは時計回り、ゆるめたいときは反時計回りに回す




NOTE



トルク調節用ネジをゆるめすぎると、内部でネジが外れペダルが固定できなくなる恐れがありますので、十分に注意してください。

ファームウェアを管理する

ファームウェアバージョンを確認する

1.  を押しながら **A1 FOUR/A1X FOUR** の電源を ON にする
ファームウェアのバージョン画面が表示されます。

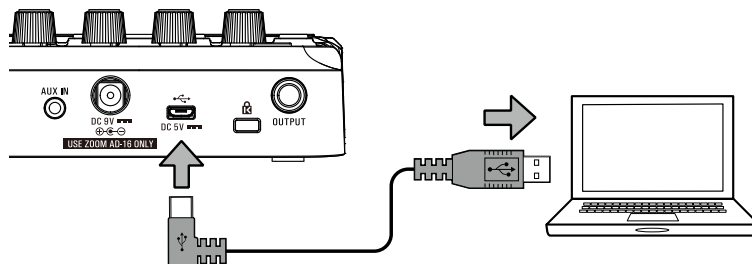
VERSION		
SYSTEM	PRESET	BOOT
1.01	1.00	1.00
F5W:START		

2.  または  を押す
A1 FOUR/A1X FOUR が再起動して、通常画面に戻ります。

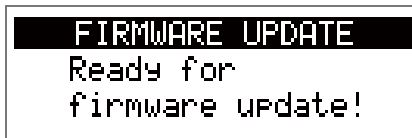
ファームウェアをアップデートする

ZOOM の WEB サイト (www.zoom.co.jp/) を確認して、**A1 FOUR/A1X FOUR**用のファームウェアをダウンロードしてください。

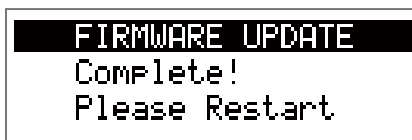
1.   の両方を押した状態で、**A1 FOUR/A1X FOUR**とパソコンを USB ケーブルで接続する



A1 FOUR/A1X FOURの電源が ON になり、ファームウェアのアップデート画面が表示されます。



2. パソコンでファームウェアアップデートアプリケーションを起動する
アップデートが実行されます。
アップデートが完了すると“Complete!”と表示されます。



NOTE

- ファームウェアアップデート中は USB ケーブルを抜かないでください。
- 万が一ファームウェアアップデートに途中で失敗した場合は、手順の最初からファームウェアアップデートを再度実行してください。

HINT


アプリケーションの操作については、ZOOM の WEB サイトを参照してください。

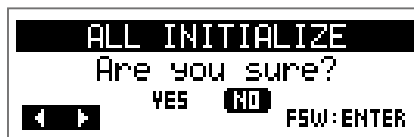
3. アップデート完了確認後、USB ケーブルを外して電源を OFF にする


HINT

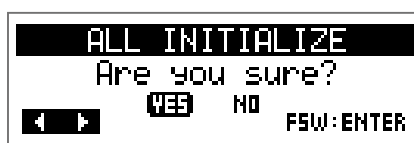
ファームウェアのアップデートにより、保存済みのパッチメモリーが消去されることはありません。

工場出荷時の設定に戻す



1.  を押しながら **A1 FOUR/A1X FOUR** の電源を ON にする
初期化の確認画面が表示されます。



2.  を回す
操作を選択します。



設定	説明
YES	初期化して工場出荷時の設定に書き換えます。
NO	初期化をキャンセルして、通常画面に戻ります。

3.  または  を押す
初期化されます。

初期化が完了すると、ディスプレイに "Complete!" と表示された後、通常画面に戻ります。



NOTE

初期化を実行すると、パッチメモリーを含むすべての設定が工場出荷時の設定に書き換えられます。この操作は慎重に行ってください。

故障かな？と思う前に

電源が入らない

- 電池駆動時は、入力端子にケーブルを接続する。

音が出ない、非常に小さい、音が歪む

- 接続を確認する。(→ [10 ページ「接続する」](#))
- 各エフェクトのレベルを調節する。(→ [23 ページ「エフェクトのパラメーターを調節する」](#))
- パッチメモリーレベルを調節する。(→ [16 ページ「パッチメモリーのレベルを変更する」](#))
- アウトプットボリュームを調節する。(→ [13 ページ「全体の音質と出力レベルを調節する」](#))
- エクスプレッションペダルで音量の調節を行っている場合は、適切な音量になるようにペダルの位置を調節する。
- チューナーのアウトプットが“MUTE”になっていないことを確認する。(→ [43 ページ「チューナーの設定を変更する」](#))
- 楽器本体の出力レベルを調節する
- MAA-1 の入力レベルを調節する。(→ [12 ページ「MAA-1 の入力レベルを調節する」](#))

ノイズが多い

- シールドケーブルが正常であることを確認する。
- ZOOM 純正の AC アダプターを使用する。(→ [10 ページ「接続する」](#))

エフェクトがかからない

- エフェクトの処理量が制限を超えている場合、ディスプレイに“PROCESS OVERFLOW”と表示される。“PROCESS OVERFLOW”と表示されたエフェクトはバイパス状態になる。(→ [22 ページ「エフェクトの種類を変更する」](#))

電池の消耗が早い

- マンガン電池を使用していないか確認する。連続使用可能時間は、アルカリ電池で約 18 時間。
- 電池の設定を確認する。
電池の残量表示をより正確に行うには、使用している電池に設定を合わせる必要がある。(→ [37 ページ「電池の種類を選択する」](#))
- 電池の特性上、気温が低い場所で使用すると消耗が早くなる。

エクスプレッションペダルがうまく動作しない (A1X_{FOUR} のみ)

- エクスプレッションペダルの設定を確認する。(→ [56 ページ「エクスプレッションペダルを使用する」](#))
- エクスプレッションペダルを調節する。(→ [57 ページ「ペダルを調節する」](#))

仕様

■本体

同時使用エフェクト数	5
パッチメモリー数	50
サンプリング周波数	44.1 kHz
A/D 変換	24-bit 128 倍オーバーサンプリング
D/A 変換	24-bit 128 倍オーバーサンプリング
信号処理	32-bit
ディスプレイ	ドットマトリクス LCD (128*32 dot)
入力	INPUT 標準モノラルフォーンジャック 定格入力レベル：-20 dBu 入力インピーダンス (ライン)：470 k Ω
	AUX IN ステレオミニジャック 定格入力レベル：-10 dBu 入力インピーダンス (ライン)：1 k Ω
出力	OUTPUT 標準ステレオフォーンジャック (ライン/ヘッドフォン兼用) 最大出力レベル： ライン + 2 dBu (出力負荷インピーダンス 10 k Ω 以上時) ヘッドフォン 17 mW + 17 mW (負荷 32 Ω 時)
入力 S/N	120 dB
ノイズフロアー (残留ノイズ)	-97 dBu
電源	AC アダプター DC9V センターマイナス、500 mA (ZOOM AD-16) 単三乾電池 4 本 連続駆動時間 約 18 時間 (アルカリ電池使用、LCD バックライト OFF 時)
USB	USB MIDI USB Micro-B ※USB 端子からの給電も可能です。 ※充電専用ケーブルを使用した場合、給電以外の機能は使えません。
外形寸法	A1 _{FOUR} 156 mm(D) x 130 mm(W) x 42 mm (H) A1X _{FOUR} 156 mm(D) x 216 mm(W) x 52 mm (H)
重量	A1 _{FOUR} 340 g (電池を除く) A1X _{FOUR} 610 g (電池を除く)

■ MAA-1

入力	バランス入力 (XLR：2 番ホット) 入力ゲイン：+3 ~ +30 dB 入力インピーダンス：10 k Ω 最大入力レベル：+4 dBu ファンタム電源 +48 V
出力	標準モノラルフォーンジャック 規定出力レベル：-20 dBu 最大出力レベル：+ 7 dBu 出力インピーダンス：1 k Ω
電源	単三乾電池 2 本 連続駆動時間 (ファンタム電流 3 mA 時) 約 15 時間 (アルカリ電池使用) 約 15 時間 (ニッケル水素蓄電池使用)
外形寸法	177 mm (D) x 23 mm (W) x 25 mm (H)
重量	70 g (電池を除く)

※ 0 dBu = 0.775 V

※ 電池持続時間は当社試験法によるもので、使用条件により大きく変わります。

zoom[®]

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
www.zoom.co.jp

Z2I-3770-02